

広報

のあさひ

No.297

'81

8/15



素力みなぎる 奉納剣道大会

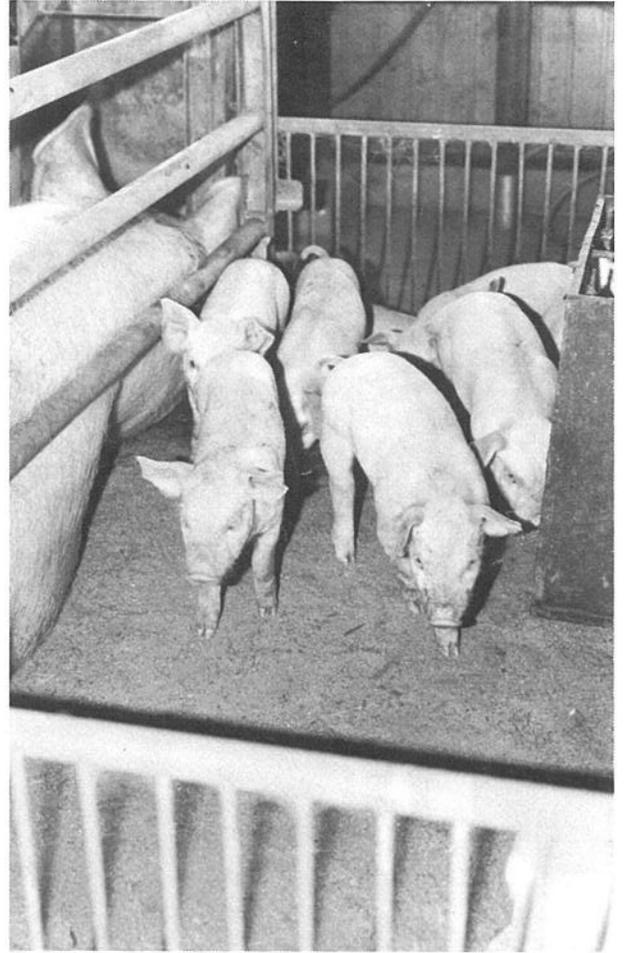
7月19日、うだるような暑さの中で、恒例の白山神社奉納剣道大会が開かれました。境内に集まった観衆の大きな声援に、選手たちの気迫もこもり熱気あふれる大会となりました。

● 今月の内容 ●

- 築こう豊かな農業を……………2
- 町政すほつと……………6
- カメラルポ
大沼島まつり……………10
- みんなの教育
石の文化……………12
- 町民の広場・情報室……………14

な農業を

めざして



町ではいま豊かな町づくりをめざし、農業の振興に力を入れており、とりわけ生産基盤の整備と開発可能地の農地化に重点をおいて諸事業をすすめております。しかし、今日の農業をとりまく情勢は第二期水田利用再編対策や農畜産物の輸入問題、農業後継者の不足など、きわめてきびしい状況にあります。今月は、安定した農業経営をどうはかるか、みんなで考えてみたいと思います。

ふえている

専業農家

はじめに、わが町における農業の実態についてふれてみたいと思います。

農家数の推移については図1のように、総農家数では、昭和四十年の二、二〇七戸に比べ、五十五年には一、七九五戸と十五年間で四一二戸減っています。つぎに専業農家については、昭和四十年の三〇八戸から五十年には一二三戸と激減しているものの、その後少しずつ増えてきており、五十五年には二三八戸となっています。

また、兼業農家の内訳をみてみますと、第一種兼業（農業収入が主）が年々減ってきている反面、第二種兼業（農業外収入が主）が少しずつ増えてきていることがわかります。

つぎに昭和五十四年の農業粗生産額をみてみますと、図2のように果樹が三〇億八千万円ともっとも多

く、次いで米が一〇億八千万円、工芸農作物（たばこ、ホップなど）が三億四千万円と続いています。

また経営耕地面積については、水田が七一六畝、果樹園五七三畝、桑園一四三畝、普通畑二八三畝となっていますが、兼業農家の増加に伴って遊休荒廃農地もふえており、有効な土地利用をすすめるためにも、農地の流動化が必要となっています。

町ではいま生産基盤の整備と開発可能地の農地化に力を注いでいます。農地開発や土地改良事業として、ほ場整備をはじめ長根・三中・水本地区の樹園地造成をすすめているほか、赤釜と元能中に果実集荷所を設置する計画です。

さらに今年度からは新たに新農業構造改善事業に着手しており、りんご園の造成や農業近代化施設整備、農業団地センターの建設などの計画を盛り込んでいます。

さてわが町の経営耕地面

新い豊か

安定した経営

面積のきわめて少ないわが町で、安定した農業経営をはかるには複合経営を充実すると共に、いかにして生産コストを下げ収益を上げるかが必要になるのではないかと思います。

そこで、現在それぞれの型態で農業に意欲的に取り組んでおられる方々に、これからの経営に対するご意見を伺ってみましたのでご紹介します。

畜産を

見直そう

まずはじめに養豚とぶどう園を経営している本町の布施正美さん(33歳)に伺いました。

——畜産団地をつくったきっかけと現在の状況は？

布施「高校卒業後これまで畜産をやってきたわけですが、最近の公害問題などもあり、三年前に構造改善事業の補助を受けて三人で杉の原に宮宿畜産団地をつく

りました。畜産を始めた頃は先行きが不安なこともありましたが、年二回半の回



布施正美さん

転で出荷できるし、冬期間も出稼ぎしないで年間平均してやれるので、割合安定しているのではないかと思います。」

——これからの経営方針をどう考えていますか。

布施「養豚のほかに柏原団地でぶどうを作っています。かなり手数がかりど

うしても養豚がおろそかになりがちなので、将来はぶどうを加工用に回し豚をふやしていく考えです。

また、豚は極端な高値が期待できない反面、品種によっては価格の高低に差がでてきますので、良品の豚を導入し飼養管理に気を配りながら、高く買ってもらえるよう努力するつもりです。」

省力化が課題

つぎに桑園を開墾し、たばこ団地を経営している杉山の安藤敏春さん(26歳)に伺ってみました。

——現在の経営状態はどうでしょうか。

安藤「以前は現在の所で養蚕をやっていたわけですが、うまくいかなかく六年前にたばこに切りかえまし



安藤敏春さん

た。最初一畝ぐらいから始め、現在では

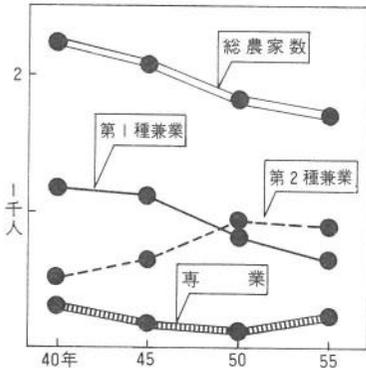
一・三畝にふやし両親と三人でやっております。たばこも減反があるわけですが、やめる人も出ていますので実質減らすこ

ともなく、価格も契約栽培であることから安定していることが魅力です。」

——これからの農業経営についての考えは？

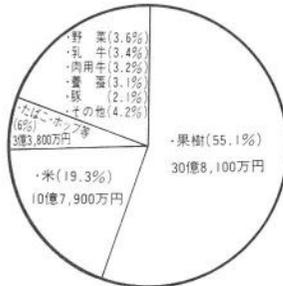
安藤「何といっても土地条件に合った作物をつくるべきで、その点杉山ではたばこ以外に考えられないと思います。いまの団地は開墾したばかりで、まだ土が肥

図1. *農家数の推移



(農林業センサス・農基)

図2. *農業粗生産額(S54年)



(農林水産統計)

えてないので今後土づくり
に力を入れ、良品質のもの
を作ることが課題です。

また、残っている土地も
あり栽培面積をもっとふや
したいと思っていますが、
人手が足りなくいかに省力
化していくかを考えなくて
はなりません。」

アイデア

生かした農業を

つぎに内陸地方の特産物
として、青菜づくりに取り
組んでいる八ッ沼の佐竹千
代雄さん(28才)に伺いま
した。

町内では数少ない青菜
栽培をやっているわけです
が経営状態はどうですか。

佐竹「以前は水田に加え養
蚕とぶどうをやっています
たが、養蚕をやめてこの辺
が適作とされる青菜づくりに
を始めました。八ッ沼全体
で一・五畝ありますが私は
四〇坪くらい栽培していま
す。春、夏の二回漬物会社
へ直接出荷していますが、
おみ漬などはたいへん評判

がよく現在県内だけで全部
消費されています。」



佐竹千代雄さん

耕地面積の少ないわが
町での農業経営はどうある
べきだと思いますか。

佐竹「朝日町は土地の起伏
がはげしいものの、気象条
件や土質からいって、何を
やっても合う所だと思いま
す。でもこれからは立地条
件に合ったもので、人より
先に手がけアイデアを取り
入れた農業でなければなら
ないと思います。

また青菜は県内だけでな
く、山形特産として都市部
への販売ルートを開拓して
いくことも大きい課題で
す。」

複合経営

の充実を

大舟木で養蚕と肉牛の複
合経営をしている佐藤昭さ

ん(51才)に伺いました。

「養蚕と畜産の複合経営
で考えておられることは？
佐藤「桑園一畝で年平均均
して七箱ずつ置いており、肉
牛は一〇頭飼っています。

畜産との複合経営でよい面
といえば、堆肥を田や桑園
に入れることで地力もつく
し、肥料の高い時なのでと
ても助かります。」

「これからの経営方針を
どう考えていますか。」

佐藤「長く養蚕を続けてい
くには桑園の管理がだいい
じで、桑も少しずつ植え替え



佐藤昭さん

していく必要があります。
また、より収益を上げるに
は低コストで収量をふやす
ことが今後の課題になるか
と思います。そして養蚕と
肉牛との複合経営を確立す
ると同時に、出稼ぎ解消の
ためにも肉牛を少しずつふ
やしていきたい考えです。

守ろう りんご主産地

つぎにりんご生産組合の
リーダーとして活躍してい
る、大谷一の志藤良男さん
(44才)に伺いました。



志藤良男さん

「りんご生産量が全国的
にふえていますますが、今後の
対応はどうあるべきでしょ
うか。」

志藤「全国の生産量が一〇
〇万トに達しようとしてい
る情勢下において、これま
どどおり主産地としての名
柄と信用を守っていくには
生産者の意識がもっとも重
要になってきます。」

町内にはいくつかの生産
団体があり、それらを全部
含めた形で全国から評価を
受けているのであって、共
選に出せば金になるんだと
いう意識を捨て、買っても

らえる商品として出荷する
んだという意識を高める必
要があると思います。

これまでは売り手市場と
いう形でりんごづくりをし
てきたわけですが、現在は
買い手市場に変わっており
選ぶ権利が市場と消費者に
ある時代です。

これまでの高い信用と評価
を堅持してゆくには、農協
を主軸にして生産・販売と
も組織をあげて取り組んで
いかなければとり残される
ことを認識すべきではない
でしょうか。」



乾燥前のたばこ編み作業

不安と夢

つぎに今年新たに、水本に樹園地を造成しているメンバーの一人、高橋光一さん(26才)に伺ってみました。

——現在の経営状況については？

高橋「うちでは水田二畝とホップ50竹ほど作っていますが、ホップの収穫期にな



▲造成すすむ水本樹園地

ると、人を何人も頼まないとやれないほど忙しく、部落内の生産者とも時期が重なるため人を頼むに苦労している状態です。」



高橋光一さん

高橋「四人で四・八畝を造成していますが、りんごづくりに取り組むきっかけとしては、ちょうど条件のよい土地が求められたこと、将来ともホップを続けてゆくには人を頼むことが至難であることなどです。りんごづくりは初めてで不安もありませんが、大きな夢も抱いています。」

ほしい
企業的感觉

つぎに派米農業研修生として、アメリカで二年間研修してきた沼向の菅井勝英さん(27才)に伺いました。

——外国からみた日本農業はどうでしょうか。

菅井「アメリカの場合巨大集約農業といわれ、一戸一戸の農家が企業型態になっています。日本の農業は品物を作ってからどう売るかという経営ですが、アメリ



菅井勝英さん

カではどう売りさばくかを考え、それから品物を作るというように基本的に違います。それに、どんな部門でも技術的にかなり細かい面まで配慮されています。」

ところで朝日町の農業に目を向けた場合感じられることは、りんごは全国のプロ

ランドになっていますが、生産量がますます増えてくることが予想され、決して安定したものではないと思います。これからは出荷先なども、一ヶ所だけでなく消費地を開拓していく努力がほしいものです。」

地元の産物

町民へ

最後に消費者の立場から元町の工藤信子さん(40才)に伺ってみました。

——消費者の立場から、農業についてのお考えは？

工藤「朝日町は、りんごとワインの町、と言われていますが、もっと宣伝が必要なのではないでしょうか。家族連れで気軽に出かけられるりんご園などがあれば、もっと親しみ深いものになると思います。それに、朝日町のりんごがもう少し安くまた容易に買えるよう、町民向けの販売も考えていただけたら嬉しいことです。」

毎日使う野菜について

も、日曜日などが開かれ、



工藤信子さん

新鮮な地物が買える、という訳にはいかないものでしょうか。

さらに理想をいえば、学校給食に、地元でとれる新鮮な果物や野菜が使われれば、子供達も土地の産物に、より深い関心を抱くようになるかと思えます。」

それぞれの立場から、わが町の農業に対するご意見を伺ったわけですが、共通していることは、少ない耕地でいかに収益をあげるか。そして、低コストで良い品質のものをどう作るのか、ということがあげられます。色々な課題が山積している中で安定した農業経営を確立するために、生産者をはじめ、町も農協も一体となって取り組んでいきたいものです。」

左沢・長井線の利用促進を

左荒線期成同盟会

新たな運動でスクラム

荒砥

消すなたやすな先祖の願
い——を合言葉に、地み
ちな運動を続けている内陸
循環線(左荒線) 促進期成
同盟会(会長・小林町長)の
総会が、七月十三日高令者



センターで開かれました。
この同盟会は、左沢と荒
砥を結ぶ二二・七歳の鉄道
布設を実現させようと、七
年前に設立されたもの。朝
日町を中心に関係十一市町
がスクラムを組み強力な陳
情運動を展開しています。

おしよせる 合理化の波

しかし赤字ローカル線の
廃止基準を定めた国鉄再建
法施行令の制定に伴い、長
井線は六十三年度以降に廃
止対象路線になる可能性が
強く、左沢線も貨物取り扱
い廃止や二駅の無人化が計
画されているなど、国鉄合
理化の波がおしよせている

のが現実です。

総会の席上では、こ
うした状況をふまえて
今年に新たに沿線市町
の開発構想をもちこん
だマップづくりや左沢
線、長井線の利用促進
運動もあわせてすす
め、県の開発重要事業
として調査線への格上
げを強く働きかける方
針を採択しています。
とくに町では、左荒線
実現運動は左沢・長井
両線の危機打開にも直
結することから、白鷹
町と足並みをそろえた
三陸沿岸への「町民号
の旅」を計画、長井線
の利用促進に力を入れ
ることになっています。

「経営向上のカギ」学ぶ

工業大学校

第一線を担う企業マン90名



企業マンの研修を深め経
営の向上を図ろうと、七月
九～十日の二日間、第一回
工業大学校がマイニット厚
生会館で開かれました。

これは、ことし三月に設
立された町工業振興協議会
(阿部宗一郎会長・会員製
造業11社)が主催したもの。
近年の町内企業の発展は
めざましく、製造品出荷額
では五一億六千万円(昭和
五十四年統計)をこえ、農
業粗生産額の五五億九千万
円、商品販売額五四億三千

万円とほぼ肩を並べる額に
上っています。

大学の講義内容は、朝日
相扶の阿部社長をはじめマ
イニット秋葉社長、サンラ
イズ永井社長らの講師によ
る、中間管理職の役割やコ
ストダウンの方策、品質管
理のあり方など。豊富な経
験とニューモアを交えた講義
に、九十名の受講生たちは
眠気を忘れて真剣にメモを
とるなど、第一線を担う企
業マンのやる気あふれる大
学となりました。

「町民号の旅」へご参加下さい

臨時列車による町民の研修と対話の旅——この町民号は、一車輛八〇名で八月末まで募集しています。

白鷹町荒砥駅から仙台へ一ノ関を通り南陸中海岸、

平泉中尊寺への旅を往復国鉄利用するもの。リアス式海岸の景勝地や臣釜半造、藤原氏三代の栄華の名残り中尊寺、厳美溪などを經由しながら、歌あり講話あり

の楽しい旅です。どうぞおさそいあわせの上ご参加下さい。
期日／九月六日～七日
会費／一人二万一千円
募集人員／八〇名
申し込み／申込金千円をそえて朝日町役場企画課へ。

朝日町

左沢

きれいな選挙を実現しよう！

山形県知事選挙 投票日 県議補欠選挙

9月27日

贈らない・求めない・受けとらない

九月二十七日は山形県知事選挙、山形県議会議員補欠選挙の投票日です。

私たちの生活は、すべて政治と深いつながりをもっています。

この政治を行うのは、有権者一人一人が一票を投じて選挙で選んだ私たちの代表者です。

民主政治が正しく行われるためには、私たちは有権者が義利や人情にまどわされず、公正な立場で、しっかりと自分自身で判断し、一票を投ずることがもっとも

大切なことです。

明るく公正な選挙を実現するために、私たちは有権者一人一人が心がけなければならぬルールを再認識しましょう。

*3ない運動の実践を

現職の議員はもちろん、候補者などが選挙区内の人々に対して寄付を行うことは親族などの特別なケースを除き、いっさい禁止されています。

また、私たちも寄付を求めたり、受けとったりする

投票日
…この日ばかりは雨がふってもヤリがふっても…



*不在者投票で棄権をなくそう

ことも禁じられておりません。具体的な例としては、▽出産や入学、卒業、結婚祝いなどの祝品を贈ること
▽お葬式の際、香典や花輪などを出すこと
▽祭りや催し物にお金や酒などを提供すること
▽お中元やお歳暮を贈ること

▽団体旅行などに寄付をすることなどです。

贈らない、求めない、受けとらないの「3ない運動」できれいな選挙をみんなで見守りましょう。

投票日に仕事などでどうしても投票所で投票できない方のために、不在者投票制度があります。この期間は、告示の日から投票日の前日までとなっています。

また、身体に重度の障害のある方のために、在宅投票制度もあります。くわしくは、役場内選挙管理委員会（☎七二一一）まで、問合わせて下さい。

第二の主力選手 「嫁さん社員」

ここ数年、企業で働く家庭婦人が急激に増え、農家サラリーマンの第二の主力選手になりつつあります。この中で、「嫁さん社員」といわれるヤング層は、妻、母、社会人、そして会社員といった五つの顔をもち家庭的にも社会的にも大きな役割を担っています。

町労務対策協議会（阿部宗一郎会長）では、農村に



- ★調査期日/7月3日～8日
- ★調査対象/労対協加入の事業所で働く姑さんのいるお嫁さん
- ★調査数/198名 (19社)

嫁さん社員のお小遣いは？

労対協でアンケート

“2万円未満”が77%

「嫁さん社員」のお小遣いは約8割が2万円未満——こんなアンケートの結果が出ました。これは町労務対策協議会が5年ぶりに調査したものの。このほか、すばらしい提言なども続々。早速ご紹介しましょう。



おける嫁さん社員の勤労意識と家計や小遣いに対する考えを、このほどアンケートによりまとめました。家庭での嫁、姑問題や深刻な嫁不足問題など、解決への糸口を見出すために、このデータをもとにみんなで考えてみましょう。

●現在の給料の額は？
▽五万円未満………3割
▽五万円～七万円……31割

調査対象は労対協加入十九社に勤務する、姑さんのいる嫁さん社員一九八名。勤続年数は五年未満が43割、五年～十年が32割と十年に満たない人が75割となっています。

“賃金九万円以下”
76%

▽七万円～九万円……41割
▽九万円～十一万円……19割
▽十一万円以上………3割

全体で九万円以下が75割となっており、勤続十年未満の人数と同じ割合になっています。これは回答者の意見の中にもみられる単純比較による給与の低額感となつて現われています。

●家計の状況について
▽すべて姑………53割
▽全部まかされている………30割
▽姑と独立している………10割
▽すべて夫………6割

金があいし、家庭生活に多額のお金が必要な現在なので小遣いもあまり無理なことは言えません。

“家計はすべて姑”
53%

何らかの形で嫁さん自身の意志が関与できるのは45割。家計のあり方については各家庭のケースによって異なり、家計をまかされた方が大変だという意見も出されています。

☆ひとつこと▽

☆家計をまかされていると自分の小遣いなどなく、それよりもお姑さんから毎月決まった小遣いをもらった方がいいと思う。

☆若いうちに苦勞した方がいいと一切まかされています。お陰で小遣いは派手に使えませんが生活費



女子剣道が県大会制覇!

朝日中学校

男子テニスは3位

朝日中学校女子剣道部は、さる7月25日
松山町の里仁館高校で行われた県中学校剣
道大会で、初の県大会優勝の栄冠を勝ちと
りました。

試合は梨郷中、山五中、飛鳥中、田川朝
日中と強力な相手を向うに回しての対戦。

一戦、一戦、日頃鍛錬した技を十分に発
揮して勝ち抜き、決勝戦は酒田三中と。



酒田勢と西郡勢の会場を揚げての応援の
中、朝日中チームは整然たる試合運びで、
副将戦で優勝を決める善戦振りでした。

栄冠涙あり、堪え抜いたきびしい鍛錬の
日々思いを馳せ、選手たちは嬉し涙のう
ちに、8月25日の全国大会での県代表の名
に恥じない戦いを誓っていました。

軟式庭球男子

団体と個人が第3位入賞!

7月25日酒田市光ヶ丘球場で行われた県
大会において、朝日中は、米沢二中に2対
1で惜しくも破れ第3位。個人戦では善戦
及ばず、準決勝戦で山辺中に4対3の1点
差で惜敗、第3位に留まりました。

今後の活躍に期待したい。

や将来のことなどやりくりでき張りがあります。

「じんじさま」の
ひつじがほしい

●給料の扱い方について

▽そのまま渡す……25割

▽そのまま自分で使っている……30割

▽全部渡したあと一部をもらう……35割

▽必要な分だけ受けとって渡す……8割

給料をそのまま渡すと答えた人は、後で一部をもらう人も含めて60割。回答者

の意見では、この方法についてよりも給料を渡す際に「ありがとう。ご苦労さまでした」のひとこと、あなたがかい思いやりを望む声が多くなっています。

▲ひとこと▽

☆一カ月働いて帰った給料を「どうも」のひとことだけ。せめて「ご苦労さま」ぐらいは言ってほしい。

●賞与だけでも自由に

●月々の小遣いの状況

▽毎月一定額……54割

▽必要な分だけ給料から差し引いて……15割

▽毎月一定額もらいあとはその都度……8割

毎月一定額姑からもらうというタイプが62割。小遣いの額については、一万円以下が31割あり一萬五千元を含めると53割に。次の設問の、二万円以上を希望する人45割と比べると格差がちょっと大きいようです。

●希望する小遣いの額

▽一万円(6割)▽二万円(30割)▽二萬五千元

(5割)▽三万円(24割)

●今後の小遣いのあり方

▽今のままでいい……46割

▽小遣いは今のまま

で賞与は自由に……14割

▽希望額に上げてほしい……8割

どれぐらいの小遣いを望んでいるかについては、ほぼ現状プラス一万円という考えが強く、せめて賞与ぐらいは自由という声が高いのは注目されます。

▲ひとこと▽

☆残業しても昇給になっても小遣いに変化なし。働

独身男性

ガンバツテ!

けど働けどでちよっぴり不満もあります。

●町内の独身男性について

☆①気持ちをはっきりしない②仕事ができても思いやり欠ける③気がきかない、融通性がない④当たってくだけるの精神に欠ける⑤この人ならという人間の魅力がみられない⑥外見だけでなく内面において素敵な人が少ない⑦過保護で依頼心が強い



▲まつりのメイン、島の切り離し式



恒例となつた大沼島まつりが、七月十九日
梅雨あけのさわやかな日さしのもとおごそか
に行われました。この日は、朝早くから部落
民繪出で沼周辺の刈払いや清掃、かささぎ橋
の由来板を設置したあと、新しく誕生した二
つの島の命名と祈願の行事がありました。
名勝として名高い大沼浮島を、神秘的で美
しい観光地として、みんなで守り育てたいも
のです。

《かささぎ橋・ひし星と織ひめ星の年に一度
の逢瀬を、かささぎが翼を並べて天の川を
渡したという故事により名づけられた。相
愛の男女がこの橋を渡ると縁が結ばれると
伝えられている》



▲この日かささぎ橋の由来板を設置した

島新 の 誕生



▲神秘的な大沼の風情

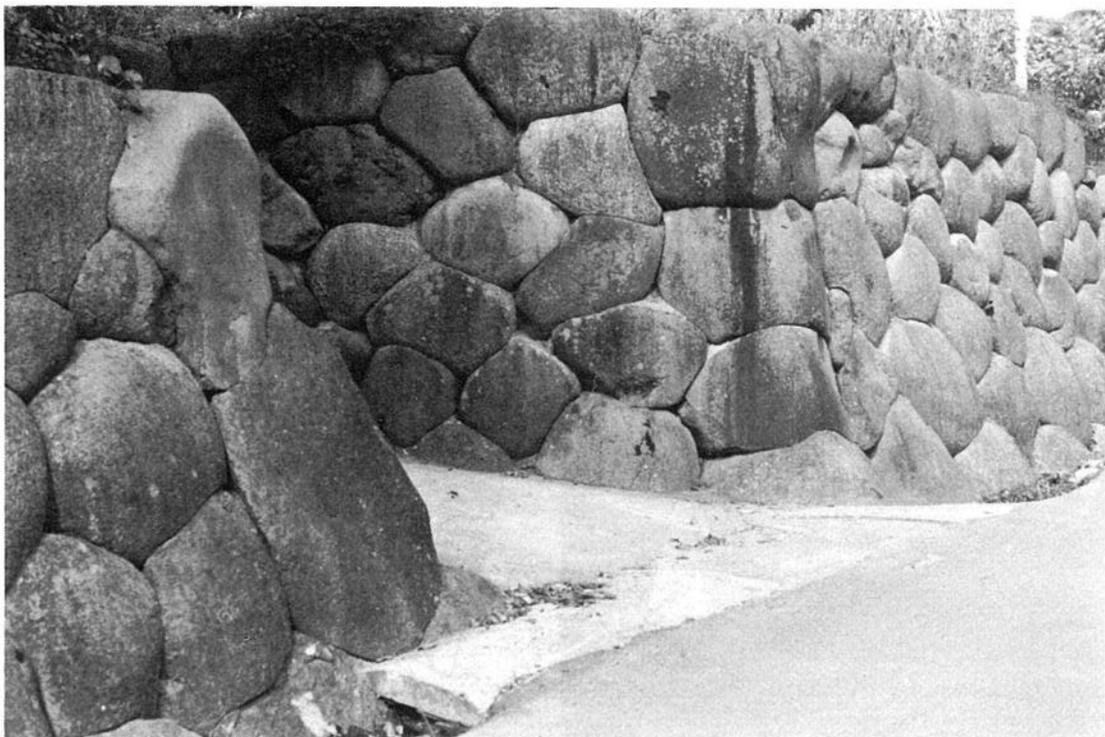
沼大勝名
島まつり



◀おそそかに祈願祭



▶新たに誕生した
美濃島と飛驒島



石の文化

— 人間は昔から石を
どのように利用してきたか —

約三〇〇万年前、アフリカの草原での出来事です。サルに似た動物の一種にすぎなかった人間の祖先は、食物を得るために一片の石がたいへん役にたつことを知ったとき、初めてヒトになりました。やがて、ヒトは狩や調理に必要な石の道具を作り、石を敷いて住家を整え、みんなが生活しやすいように、工夫をこらしてきました。

文化のはじまり

わが国の石の文化は、一〇万年以上も昔、大陸から人間が移り住んだのがはじまりと考えられています。中国の北京原人の子孫かも知れませんが。

旧石器の古いものは、西川町・大井沢から、緑色の小型石器（一〜五稜位）が発見されましたが、全国でも珍らしく、今年、東北大学の発掘調査が行われることになっています。

八千年前の石槍

長井市付近から出土した石槍、縄文時代初期のものですが、石質は硬質頁岩です。最初細長い石の剣片を作り、さらに周縁から全体にわたって細かい調整打がほどこされています。どの時代の石槍よりも精巧な作りで、美しく、その見事な出来ばえに驚くほかはありません。遠い昔、原始人はすでに芸術に深い関心を寄せていたことがわかります。

堅固で美しい石垣

ヨーロッパの町のように建物も道路も、町全体が石で出来ているという石の文化の伝統は、日本では発達しませんでした。しかし、大阪城を見た人は、石垣の、石の巨大さに驚くことでしょう。昔の時代に作られた壮大で華麗な石垣は、世界に自慢できるわが国の技術であります。また、地

方の旧家の屋敷には、たいへん立派な石垣を見る事ができます。

遠い所から石を運びそれをうまく積みかさねるといった仕事は、労力も費用もなみたいていのことではなかったでしょう。しかも地震や洪水の災害にも耐え、長い年月にわたり堅固で美しい姿を見せてくれています。戦前は、朝日町内に地主おかかえの石屋がいたのですが、今はその技術を伝える人はありません。

「石の裏表を知る」「一個の石は互いに四個の石でささえる」とかいった石垣つみの秘訣は、今ではまぼろしの工法となってしまうました。

最後の石の道具

約二千年前(弥生時代)には稲作といっしょにいろいろな金属器が入ってきました。刃ものを使う石器類は姿を消しましたが、近世・現代に至るまで使われた石の道具もわずかながらあ

りました。米つきに用いた唐臼と、粉をひいた挽石がそれです。昭和の初め頃まで、実際に使ったのを覚えていた人もあるでしょう。今、唐臼は手水鉢の代り、挽石は庭の樹の下に置いたきりになっているかもしれません。

岩取り場の話

④県内一のかまどの産地 朝日町・和合、最上川の川べりにカマノフチという所があり、一瞬、廃きよを思わせるような景観を見ることが出来ます。大小、四角な穴の跡は、まぎれもない昔から掘り続けられた岩取り場の跡だったのです。

かつて、薪・わらが燃料だった頃、炊事場では土や石で作ったかまどが使われました。そして、朝日町産の砂岩は耐熱と保温がとくにすぐれ、細工がしやすいことから、今から約八十年前には、県内一のかまどと炉の産地として有名になりました。広く谷地・天童方

面、あるいは置賜地方へと移出されるようになりました。

⑤旦那衆窟(だんなしゅがま)

明治の頃、朝日町などの山間部では底のついた籠、平野部では土間にじかに置く底なし籠が一般に使われていました。朝日町で作られた底なしがまは、舟で最上川を下り、天童市寺津に一時荷おろしされ、村山一円に売りさばかれたといえます。

さ・ま・えでは普通、土がまの中にわらを燃やして飯を炊く習慣でしたが、石がまを使った場合はわらが半分の量でまにあうと、たいへん評判になりました。「だんなしゅがま」と名づけて格式ぶつたといえます。

じっさい、朝日町産の砂岩は砂の割合が多く、まさかと思うでしょうが、耐火れんがより火(熱)に強く、一、二〇〇度の高温に耐えることがわかったのです。

⑥特許になった安全だんろ

栗木沢内の川原に面白岩と呼ぶカマノフチと似た岩場があります。大正三年、大隅の菅井長蔵という人は、このオモシロの岩を使って、養蚕用のだんろを考案しました。だんろは、縦三三藤横六〇藤高さ二八・五藤の箱形で重さ約五〇キロ、鉄板二板のふたで開閉できるようにしたもので、両横に小穴をあげ炭火が燃焼しやすいようにしました。

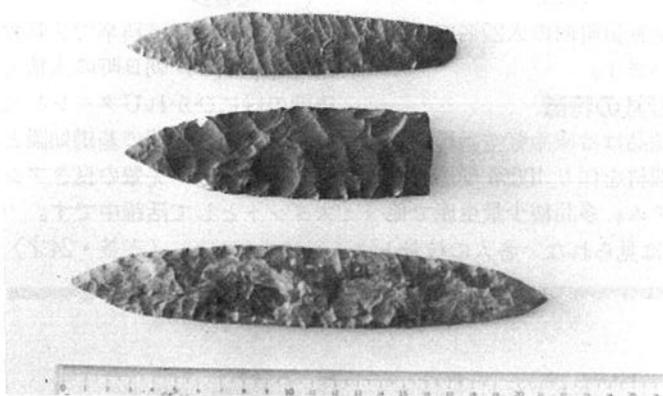
養蚕が盛んに奨励された時期でしたので、「安全だんろ」の名で新案特許をとったこのだんろにたちまち注文が殺到しました。当時、石職人は十八人もいて、だんろは年間三千個以上作られたということでした。だんろ屋・菅井商会の繁昌ぶりは今でも町の語り草になっています。

石の文化に学ぶ

私たちは、昔の石の産業から、まず、人間の創造力の豊かさを感じます。石の

文化とは、時には人間の忍耐力の極限にも達しました。が、完成した作品には不滅の魂がこめられています。さらに、文化の源流は地方から生まれたという過去の歴史を、一度みなおしてみようではありませんか。「石の上にも三年」口では大阪城もたつ」のです。

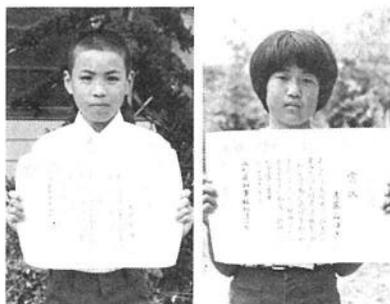
▲編集・教育広報委員会▼



全国書道展で入賞

七月二十九日から山形美術館で開かれた、東邦書道会主催の全国書道展覧会で、次の方々がみごと入賞しました。

県知事賞に輝いたのは真中の遠藤みゆきさん(朝日中二年)、また大隅の大竹聖郎君(和合小六年)が河北新報社賞を受賞しました。これからも一層の精進を期待したいと思います。



町民のひろば

●意見・話題
をお寄せ下さい。

— 広報係 —

元気いっぱい

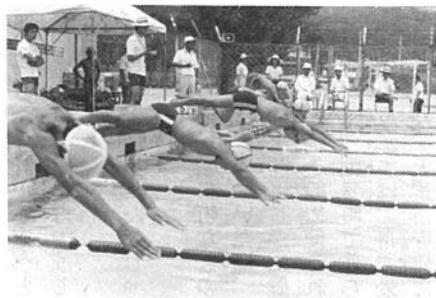
小学校水泳大会

さる七月十八日、第一回小学校水泳大会が宮小プールで開かれました。

梅雨あけの強い日差しをあびながら、元気いっぱい各種目に水しぶきをあげていました。

なお、成績は次のとおりです。

- 50 ㍊自由形男子 / ①海野英太郎(宮小) ②志藤賢一(宮小) ③安藤秀昭(上郷)
- 同女子 / ①滝川久恵(宮小) ②安藤康子(上郷) ③阿部三智子(立木)
- 50 ㍊平泳男子 / ①渡辺弘司(大谷) ②鈴木彰彦(和合) ③松尾直広(宮小)
- 同女子 / ①志藤和子(大谷) ②渡辺みき子(西小) ③齋藤恵美(西小)
- 50 ㍊背泳男子 / ①遠藤秀彦(大谷) ②安孫子幸弘



- (宮小) ③長岡保(宮小)
- 同女子 / ①峯田亜矢子(宮小) ②堀真弓(宮小) ③鈴木さゆり(西小)
- 50 ㍊バタフライ男子 / ①今野光人(宮小) ②阿部芳久(西小) ③白田秀和(大谷)
- 同女子 / 西田るみ(宮小)
- 齋藤恵(西小) ③鈴木貴子(大谷)

郡小学水泳大会第一位

- (8/3)
- ▽今野光人(一〇〇㍊バタフライ) ▽西田るみ(五〇㍊バタフライ) ▽白田美代(五〇㍊平泳) ▽小野由美(五〇㍊バタフライ五年)

●企業のあらし

48年6月町の誘致工場として操業以来町内の皆さんにはお世話になり、感謝申し上げます。

わが社は業務用冷蔵庫、空調機器の製造と販売を一貫して行い業界の注目をあつめています。昨年10月より本社松村製作所の製造部門の一部を担当する子会社として独立したばかりで、全社員町内の人22名で頑張っています。

●わが社の特徴

生產品は冷凍冷蔵空調等の装置の機材を作り100%受注生産システム。多品種少量生産で他社には見られない各人の技量と

意欲に待つところ多く、真に物をつくる喜びのわかる会社と言えます。

●わが社のホープ



設計工程係
長岡信一くん

国立鶴工専機械科卒で2年程県外で勉強し、朝日町の人情と田園の緑にひかれUターンして来た好青年。専門の基礎知識と経験を生かし、先輩の良きアシスタントとして活躍中です。

(赤釜・24才)

企業訪問

*株)マツムラ山形工場

三中丙 ☎7-2461

☆代表取締役 / 柴田圭三





全大会をめざし夜の練習

女子剣道部長として活躍する

清野智恵子さん(古楨・朝日中3年)



7月25日の県中学総合体育大会で、朝日中女子剣道が初の栄冠に輝いた。チームのまとめ役として、部長をつとめているのがこの人。

—県1位になった感想は？
「なんか夢みたいなきもちです。これも部員一丸となって日夜練習に励んだことと、剣友会の方々の熱心なご指導があったから

こそと思います。」

—全国大会が8月25日にあるそうですが抱負は？「これから合宿や夜剣で練習を積んで、ぜひ皆さんの期待にそえるよう、頑張りたいと思っています。」

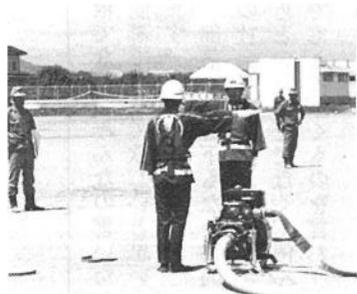
また、高校へ行ってもぜひ剣道を続けたい、と語る瞳がキラキラ輝き、全国大会への闘志がうかがえます。

西郡操法大会で 消防長官旗受賞

炎天下のもと、日頃の成果を競いあう西郡操法大会が、七月三十一日寒河江市陵東中学校を会場に行われました。

大会には一市四町の代表十チームが出場。当町からは早朝や夜おそくまで訓練に励んだ二部が出場し、それぞれ最高の紫色竿頭綬を受賞しました。また、各市町2チームの総合点数の結果、朝日町消防団が最優秀と認められ、消防長官旗を受賞しました。

▽小型動力ポンプの部
第二分団第三部(三中・阿部圓利部長) 第二分団第五部(松程・佐竹光喜部長)



爆発!

壮年パワー

七月二十六日は中部地区
八月二日には北部地区で、

にぎやかに親子剣道教室

スポーツ少年団後援会が企画

大谷剣道スポーツ少年団後援会が主催する、親子剣道教室の開講式が七月十八日夜、大谷小体育館で行われました。

この催しは、同後援会が親子一緒に剣道を基本から学び、体力づくりをしよう
と町内全域からの参加を呼びかけていたもの。

この日は、北部地区以外からの参加を含め約一〇〇名が集まって、開講式のあと基本姿勢や動作などの練習が始まり、大きな掛け声が館内いっぱいに響きわたりました。教室は剣友会員が指導者となって、これから月一回の割合で続けられていきます。

壮年ソフトボール大会が開かれ、中堅の意気をぶっつけ合いました。この日のために各チームとも毎朝のように練習を重ねただけに、どの試合も肩を並べる大接戦となりました。

この大会が活力ある部落づくりの原動力となることを期待したいものです。

成績は次のとおりです。
●中部地区/①西町B②大町A③助ノ巻、宿
●北部地区/①栗木沢②大谷③川通

* 求人あんない

●(有)アサヒ技研

(☎ 7-2467)

当社は、外装の治具製造会社として10年目を迎え発展している会社です。活力のある人をまっています。◎募集人員は中卒から40才までの男女各3名。◎賞与、年2回◎昇給、年2回、各制度に加入。

くわしくは当社へ問合せください。(あさひ自動車となり)

●(株)アサヒニクニ

(☎ 7-3411)

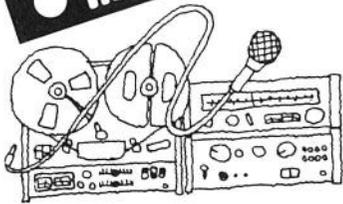
30才位までの男子20名(機械)女子5名(組立)を募集。くわしくは面談の上。応募は履歴書をそえて。

●白田建材

(☎ 8-2550)

大型自動車免許所持者1名。普通自動車免許所持者1名。給料その他くわしくは当社へ問合せください。

●情報室



* 郡中学水泳大会成績 (総合第2位)

- ☆ 1位/長岡一宏(100m・200m平泳) 滝川功次(200mバタ) 柏倉豊(200mメドレー) 浅井真由美(200mバタ)
- ☆ 2位/柏倉豊(200mバタ) 今野恵(200m背泳) 浅井真由美(100mバタ)
- ☆ 3位/菅井保(200m背泳) 今野恵(100m背泳) 佐藤由美(200mバタ) 長岡聡子(200m自由形)



先進公民館で「だより」館報を発行するところが増えていきます。館報はどんな効果役割を持つのでしょうか。ひとつは館報に書くことで参加意識を盛りあげます。児童も高齢者も、部落づくりへの参加意識を持つことが何よりも大きな効果と言えます。

つぎには部落民の考えが反映します。共同体の部落を運営していくのに最も基本となるのが、共同のコンセンサス(合意)であることは何回も書きました。そのためには単に戸主だけでの部落から老幼男女すべてのひとびとの部落にする

「部落公民館報」▽4△

のために、常にそれらのひとびとの意見をきき参加を求めなければなりません。その意味で館報は意見交換の「広場」となることができます。ですから、館報はもちろん形式内容にこだわる必要はさらさらありませんが、できればお知らせ

板でなく、みんなの書いた記事であって欲しいと思います。部落は上も下もない共同の社会です。上から、下からということではなく、何んでもとにかくものを言おう

の若い人たちはこういうことになると思うんです。必ずうまくやってくれます。ぜひ若い人達に編集発行をまかせてみて下さい。昔のように「ガリ版キリ」も不要です。ちょっとていねいに書いてもらってそれをハサミでチョキチョキ、のりで貼りつければ、あとは印刷。いまの印刷はとっても便利になりました。印刷についてはどうぞ教委にご相談下さい、実費でご協力しております。なおもう一つのコミュニ

ケーション(意見が交換できる)の手段として「壁新聞」があります。これも結構です、いろいろ工夫して大いに効果をあげて下さい。▲写真・四の沢の館報「亀の子ニュース」常盤の館報「ときわ木」▽





的を外された

行政改革

財政再建を

目標として設

置された第二

臨調答申が先

ほど発表されました。我々

が期待した行革は、第一次

答申を見る限り見事に外さ

れ、庶民への負担増と福祉

切り捨てを打出されたこと

に大きな怒りを覚えます。

厚生国民年金のスライド

延期、年金支給開始年令の

引上げ検討、農業過保護の

見直し等、その反面法外な

優遇を受けている国会議員

の年金や議員定数には一言

も触れていないばかりか、

社保審の答申による年金制

度一元化も完全に無視され

ています。臨調第二部会長

の加藤寛氏は「国会という

立法院には臨調の権限が及

ばない」と語っていました

が、政財界を温存し国民に

負担を強いる臨調なら必要

はなかったのです。

日本の国民約一億一千万

人で国会議員は衆参両院で

七六一名もいます。アメリ

カは二億二千万人で上下両

院で五三五名だといいま

す。この比率でみれば日本

は二六八名の国会議員で足

りることになります。

どこに農業の過保護があ

るといのか。農村への補

助金は農家を直接潤おす

という例は殆んどなく、全

ては地元負担金という苦しい

「ノシ」をつけて建設業者

や資材会社に流れるのであ

ることを政治家や臨調委員

は知らないのです。

東北出身の鈴木首相にか

けた期待は見事に外され、

そのお膝元から選出された

岩持新全農中会長は生産意

欲を極度に低下させつつあ

ります。農民の意志をどう

反映させてくれるか注目し

たい。単協も黙視してはな

らないはずで、「行革は政

府が卒先範を示せ」と我々

は機会あるごとに訴えなけ

ればならないと考えます。

緑蔭居士



り、草むらの中に四〇〇年
の歴史を語る。

「奉納経廻国供養

念仏二百万遍供養

弘治二年六月吉日」

石文は高さ一〇三葎花崗

岩の自然石である。弘治二

年（一五五六年）は今を去

る四二五年前である。創建

者は長岡権八であり地方の

旧家である一族一門の繁栄

とみ仏の成仏を祈り、坂東、

西国四国の名刹古寺を尋ね

て、みどりの谷間行き交う

人の旅の群流れゆく、出羽

三山の行者たち、六根清浄

唱えつつ、川面にうつる月

影さえて諸行無常と流

れゆく、歴史は語る石

文の百万遍の供養塔生

者必滅虫の音悲し。

清流朝日川のほとり七戸

のたたずまいが須の瀬であ

る。この語源は「川の流れ

がゆるやかに歩いて歩いて渡

れる所」の意である。

朝日橋のもとから約五

〇呎の下流に供養塔があ

る。この供養塔は西船渡の石

神二所の宮貞応二年（一、

二二三年）と共に町内では

最も古い石文である。さら

にその傍に、

「南無阿弥陀仏

長岡権八

須の瀬「廻国供養塔」

二年の昔である。

さらにその右側に高さ五

〇葎の自然石の中に青面金

剛の石仏が刻まれている。

見るからに忿怒の形相いか

めしく全身青く一面六臂の

仏である。

水口の八九歳翁、長岡峰

松さんは語る、

「道者は置賜方面や山形

方面から数多くここを通っ

た。松程からクボの田に下

り須の瀬の丸木橋を渡り供

養塔に道中の安全を祈っ

た。それから水口の大門

をくぐり十一面観世音を

参詣し布山の虚空蔵をお

参りし朝日岳に向った：」

供養塔は名もなく淋しく

美しく四〇〇年の歴史を語

るも細越の丸木橋、大門堂

庭の跡かすかにして尋ねる

すべもない。十一面観音静

かに昔日を語るも楯山の城

跡またかすかにして初秋の

風静かに流れるのみ。

祭礼は若葉かおる五月二

四日である。

△文、広報委員長長岡幸助▽



「南無阿弥陀仏 長岡権八 寛延二年己五月吉日」 寛延二年（一七四九年）は二三

おふろん日記

お宅もいかが？ 「野菜クズ」利用

*食改推進員/元町

五十公野 たかの

先日ある人の話の中で、生活が少しでも楽になるには「これからむこう三ヶ月間、お米一粒も粗末にしないように実行してみてもいい」ということを聞き、早速実行に移してみました。

まず、私はキャベツの固い所は大嫌いで今まで全部捨てていましたが、何かしら勿体なく一つのキャベツにも作った方の心がこもっているんだなあと思うと捨てられなくなり工夫してみることにしました。固い所を三ツ位の長さに切り、さらにうすく千切りにしてお汁の実にしたり、また大根や人参、ゴボウ、ネギなどの野菜の切れはしをまとめて細く切り、ひき肉を入れて卵とじを作ってみたら大変おいしく、とても野菜く

ずとは思えませんでした。それくらい、時々冷蔵庫の中を調べてムダのないように気をつけています。

また、白菜のシブのついたものも捨てずにシブの所を取り除き、白い所はたてにうすく切りサラダなどに入れて食べています。人参の切れはしなどは漬物に入れると色が冴えてとてもきれいです。煮物をつくる際も今では四人分だけ作り、小皿に盛って全部食べることにしています。

お陰で台所のゴミは今までの三分の一に減りました。ちょっとしたことです、物を粗末にしないことは経済的にもつながる生活の知恵と考え、今後も続けていきたいと思っています。

一枚の写真に 秘めた思い出

東京都千代田区外神田三ノ五

池田政季

暑中お見舞申し上げます。
「上郷ダム」しかし私は「大滝ダム」と呼びたい。我が「ふるさと」大滝は、幼ない頃の思い出と共に何軒かの家と田畑が、ダム底に沈んだ……。あれから二十年も過ぎ去った今もたった一枚残っている昔の写真が懐かしく、部屋の片

隅に飾ってある。時折こども達にも川で泳いだり、魚を捕えたり、田畑の仕事も一所懸命頑張った時の事など自慢しながら話しているが、今はあの川も、田畑も、そして自分が生れ育った古びた茅葺き屋根も面影は何もない。

三才の時父が病死。その後母の手で育てられ朝日分校を卒業し、日本橋の紙問屋に就職。十五年前に独立し、一貫して紙卸商に身を投じて感じる事は「ふるさと」の自然環境の中で学んだ、「真心」と、「責任感」に尽きると思います。

幸い一男二女に恵まれて、生活も落ち着き、ふと思い出すのが「ふるさと」です。

そんな、故郷が懐かしく、五十四年十一月町長始め役場の方々、町の皆様のご協力により、在京朝日町出身者で盛大に発足したのが東京朝日会です。今年はいよいよ第三回目を迎えるようとしております。

又、新たに「ふるさと」朝日町では、東京連絡所設置の企画も進められ、一層新たな朝日町となって発展して行く事に大きな喜びを感じております。実現の折は、情報の収集をはじめ郷土観光、物産のPR等、私も微力ながら東京朝日会の皆様と共に協力出来れば幸いです。

どうぞ、充実した東京連絡所となり一そう躍進されますよう期待し、素晴らし



町民登山 涼風と残雪に歓声!

さる7月26日町民登山大会が行われ、中学生から高齢者まで46名の巾ひろい参加がありました。

当日は好天に恵まれ、しかも涼しい絶好の登山日和。白滝から鳥原山、小朝日へと、例年になく多い残雪の山肌をながめながらの登山となりました。

銀玉水でのどをうるおし大朝日へ。山頂で昼食の後下山、わらう足をおさえながらも全員無事に下山しました。



町民海水浴

日焼けしたま黒!

町民海水浴大会は8月1日、開通したばかりの月山花笠ラインを通して湯の浜海水浴場で開かれました。

この日は真夏の太陽がキラキラ照りつける絶好のコンディション。110名の参加者たちは待ちきれないように海に飛び込み、思う存分泳いだりすいか割りをして楽しみました。特に子どもたちは朝とは別人のように、みんな真黒に日焼けしていました。



地域づくりの担い手に!

連合青年団

リーダー研修会を開催

ここ近年、車社会の発展で余暇の過ごし方が広域、多様化している現代の若ものたち。その中で地域に住む者同士のコミュニケーションも薄い薄れがちになります。さる七月十一日、十二日の二日間、地域づくりと魅力ある青年活動をテーマに、青年リーダー研修会が青少年育成センターで開かれました。初日は七十名あまりの男女青年が参加。分科会での討論や新入団員歓迎会で語り、食べ、飲みあかしました。また翌日は、機関紙の研修やスポーツに汗を流すなど、今後の青年活動へさらに情熱を燃やしてとりくむことを確認しました。



(渡辺良明広報委員)

なお、連合青年団(佐竹亮一団長)では、この討議の内容をまとめ来年一月の青年問題研究会や三月の青年議会に提案することになっています。

ふるさとへの便り

▶ 4 ◀

*プロフィール

- S11年8月/大滝生まれ
- S30年3月/高校朝日分校卒
同時に上京就職
- S36年/旧姓佐藤より池田へ
(叔田の性を継ぐ)
- S40年5月/池田洋紙店設立
店主として現在に至る



(紙卸業・大滝出身)

い発足の日を心待ちしております。



▽56年7月1日～7月31日届出

*出生

部落 出生者氏名父名 続柄
古 禎 清野秀行 正美 長男
本 町 鈴木拓郎 徳博 長男
大 谷 二 桜井ちずる 留吉 長女
松 程 鈴木直人 辰治 長男
小 原 鈴木千秋 好廣 二男
常 盤 長岡 梢 勇雄 長女
大 谷 三 長岡由美 美智雄 長女

*死亡

小 原 菅井大介 泰美 長男
栗 木 沢 遠藤裕之 憲一 長男
常 盤 長岡昭博 昭一 長男
栄 町 花山和美 安一 長女
新 宿 今井敦子 正仁 二女
松 程 中村有希 和晴 長女
太 郎 一 長岡なつみ 芳市 長女
古 禎 清野詔子 直治 長女
川 通 志藤 雄 勝利 二男
大 谷 三 柏倉 恵 正 長女
栗 木 沢 佐久間男一 久雄 長男
栗 木 沢 白田 愛 美津男二 女
助ノ巻 伊藤秀敏 知 長男
西 船 渡 鈴木秀和 千良 三男
部 落 死亡者氏名年齢世帯主
大 町 菅井 國夫 77 信 夫
大 船 木 鈴木 かね 81 昭太郎



町長選挙と私

みんなて
住みよい町を
☆海野正子さん(大沼)

県青年大会で大きな輪を築き上げた連合青年団活動の中で、女子活動も色々な事業をやっています。今年の目標は「母親と手を結び、明るい町づくりを」というテーマで取り組んでおります。私たち女子団員が、若妻・婦人団体と一緒に地帯に役立ち、また学習して住みよい町づくりに協力できたら、と思っています。(連合青年団女子部長。大沼山幼児教室保母。22歳)

道夫の家



交通事故を防ごう

四ノ沢で安全祈願祭

交通事故があいついで起きている四ノ沢の国道添いで、このほど部落の代表と関係者がのぞみ、安全祈願祭が行われました。この場所では、すでに二人が事故で亡くなり、つい最近もトラックが車庫に突っこむという事故があったばかりです。これから夏の疲れが出て気もゆるみがちです。交通事故は絶対出さないように気をつけたいものです。



善意のわざ

社会福祉協議会へ

現金寄贈

●このほどつぎの方々より社会福祉協議会に対したくさんの善意が寄せられました。

。和合(小原) 菅井きみゑさん
Ⅱ五〇、〇〇〇円

。前田沢(現在 在住) 清野郁さん Ⅱ三〇、〇〇〇円

。寒河江酒造組合より国際障害者年にあたって五、〇〇〇円

編集室より

暑かった今年の夏ももうすぐ終わり。子どもたちは夏休みの体験をいっぱい持って二学期へ入ります。そして間もなく実りの秋へ。健康に気をつけて仕事に励みたいものです。